

 Find Winny 2.0
ファインドウィニー ver.2.0

取扱説明書

このたびは、「SD-Find Winny2.0」をご利用くださりましてありがとうございます。
ご利用前に、本説明書をよくお読みいただき、ファイル共有ソフトによる情報漏えい対策ツール
としてご活用下さい。

■ ご使用前に／動作環境	
SD-Find Winny 2.0 の特徴／動作環境	2
制限事項	3
■ インストール	4-5
■ アンインストール	6-7
■ 起動と終了	
SD-Find Winny 2.0 の起動	8
SD-Find Winny 2.0 の終了	8
■ メイン画面の説明	8
■ 動作設定を行う	
暗号化するパスワードを記憶する	9
常に同じ場所へ暗号化済みファイルを保存する	10
暗号化時のファイルの上書き確認	10
複数ファイルの処理	10
復号化時のファイル共有ソフトのスキヤンの有無	11
暗号化ファイルの圧縮処理	11
暗号化ファイルへのFW 常駐アプリケーション インストーラ同梱	11
■ 暗号化ファイルを作成する	
ドラッグ＆ドロップで暗号化ファイルを作成する	12-14
[暗号] ボタンから暗号化ファイルを作成する	15-17
■ 暗号化ファイルを復号化する	18-20
■ FW 常駐アプリケーションについて	
FW 常駐アプリケーションの仕様	21-22
FW 常駐アプリケーションのアンインストール	23
■ ユーザー登録／サポート窓口	24
■ 使用許諾／商標について	25-26

SD-Find Winny 2.0 の特徴

● 暗号化データの復号化時にファイル共有ソフトを検知

SD-Find Winny2.0で暗号化された暗号化データは、復号化されるPC内のファイル共有ソフトの存在を自動的に検知し、PC内にファイル共有ソフトが存在する場合には、データの復号化を中止します。

● 暗号化データを復号化するPC側でソフトウェアのインストール不要

暗号化データは、自己復号化形式で暗号化されるため、実際にデータを受取り復号化する相手先のPCには、本ソフトウェアや復号化ソフトウェアのインストールは一切不要です。

● 暗号化する作業に関して様々な設定が可能

本ソフトウェアでは、暗号化する作業に関して様々な設定が可能です。

例えば、複数ファイル暗号化時のファイル分割・結合、ファイル共有ソフト検出機能の有無、暗号化ファイルのzip圧縮など、詳細な設定をして頂く事でより便利に本ソフトウェアを使用頂けます。

● FW常駐アプリケーションでファイル共有ソフトの検出時間を低減

FW常駐アプリケーションをインストールしたPCでは、定期的なファイル共有ソフトのスキャンを自動で行い、その結果を当該PCに保持します。これらのPCでは、SD-Find Winnyで暗号化したファイルの復号化時のファイル共有ソフトのスキャンを都度行わずに済みます。

特定PC同士でのファイル授受の際に効果的な機能です。

動作環境／ソフトウェアの仕様

SD-Find Winny2.0 をご利用いただくためには、以下の環境が必要になります。

対応OS	Microsoft Windows Vista 日本語版 Microsoft Windows 2000 Professional SP4 日本語版 Microsoft Windows XP Professional / Home Edition SP2日本語版
CPU	Intel Pentium III 800MHz以上
メモリ	256MB以上
ハードディスク	インストール時に10MB以上の空き容量 暗号化時に暗号化するファイルサイズの3倍以上の空き容量 復号化時に暗号化ファイルサイズの3倍以上の空き容量
必要権限	FindWinny2.0本体：インストールには管理者権限が必要 制限付きアカウントで実行可 Findwinny2.0常駐アプリケーション： 制限付きアカウントでインストール／実行可 暗号化ファイルの復号： 制限付きアカウントで実行可
暗号化アルゴリズム	RC4:128bit
パスワード設定	4～30桁 半角英数字（大文字小文字区別あり）
検知する ファイル共有ソフト	Winny 81種類（亜種を含む） Share 3種類

制限事項

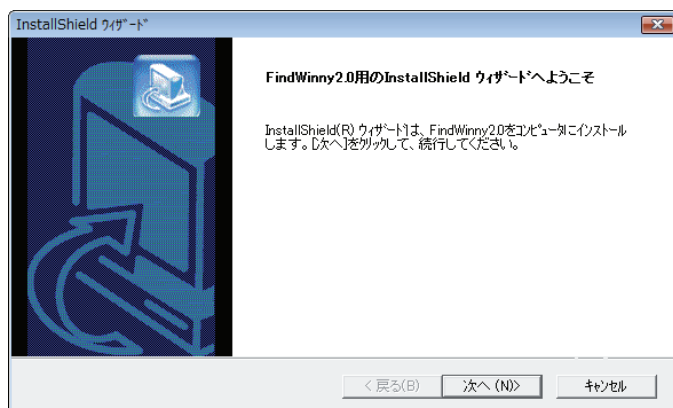
ソフトウェアのバージョンアップやパソコンの使用環境などにより、本説明書の説明内容と実際の内容・画面が一致しないことがあります。あらかじめご了承ください。

- 本ソフトウェアを利用した暗号化するデータのファイル名やフォルダ名は暗号化されません。
- 暗号化時に設定したパスワードを忘れた場合には、パスワードの復元方法はございません。パスワードの取扱いには十分注意してください。
- 本ソフトウェアを利用して暗号化したデータは、圧縮を行っておりません。
- 暗号化可能なファイル容量は、200MBまでとなります。
- ファイル共有ソフトを検知するのは、稼動するPCのローカルディスクのみです。リムーバブルディスク・ネットワークドライブ、その他ネットワーク上は検索の対象外となります。
- ファイル共有ソフトを検知するのは、稼動するユーザーがアクセス可能なフォルダ及びファイルのみとなります。制限付ユーザーアカウントで稼動されている場合、管理者権限を持つアカウントのフォルダは検知できません。また、プライベート設定されているフォルダも、検知の対象外となります。
- 本ソフトウェアは、いかなる使用方法やいかなる状況下においても、100%ファイル共有ソフトを検知できることを保証するものではありません。
- 本ソフトウェアにおいて、暗号化ファイルをzip形式で圧縮する機能がありますが、復号化時はzipファイルを解凍後に復号化する必要があります。Windowsの機能によりzipファイル閲覧時に自己復号型の暗号化ファイルを実行しても、復号化できませんのでご注意ください。
- Find Winny 常駐アプリケーション（ソフトウェア、及び本書においてはFW常駐アプリケーションと表現します）に関する制限事項は「FW常駐アプリケーションについて」を参照ください。

SD-Find Winny2.0のインストールを行います。

注意:インストールは管理者権限をもつユーザーで実行して下さい。

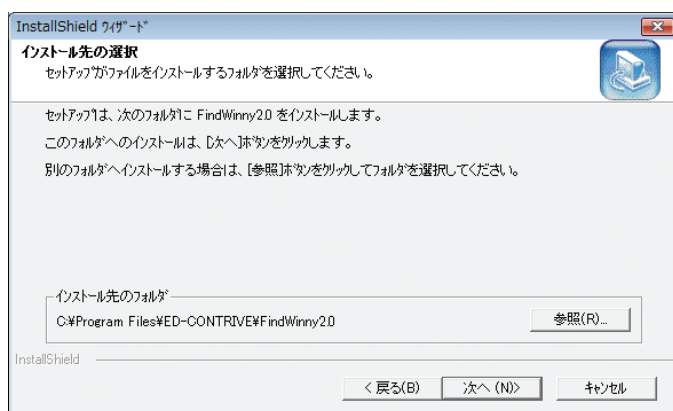
1. SD-Find Winny2.0のCDをCD-ROMドライブに挿入します。
CDドライブのsetup_v200.exeを実行すると、インストール画面が表示されます。
Installウィザード画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。



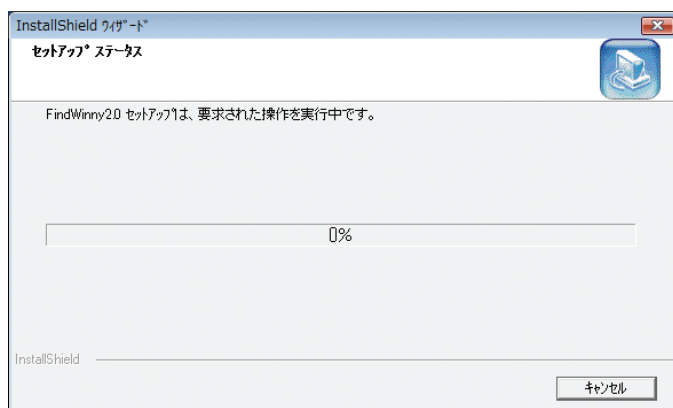
注意

Windows Vista の場合、ユーザーアカウントダイアログが表示されますが、[許可]を選択して下さい。

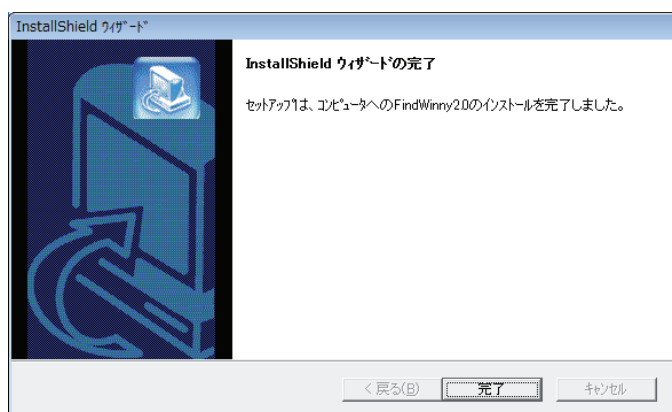
2. 「インストール先の選択」画面が表示されます。インストール先のフォルダを確認して [次へ] ボタンをクリックします。インストール先を変更する場合は、[参照] ボタンをクリックします。



3. セットアップが開始されますので、そのままお待ち下さい。



4. 「InstallShieldウィザードの完了」画面が表示されます。[完了]ボタンをクリックします。



SD-Find Winny2.0のインストールが完了しました。
本説明書をよくお読みの上、ご使用下さい。

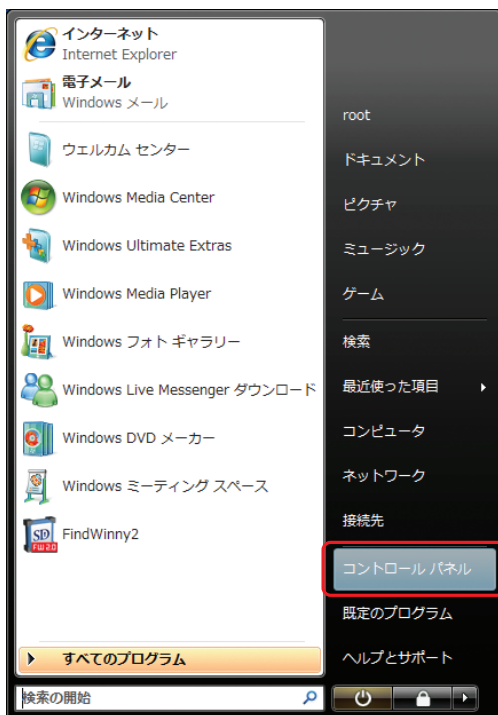
アンインストール



SD-Find Winny2.0 を使わなくなったときやインストールしたときの初期状態に戻したい場合は、SD-Find Winny2.0 をコンピュータからアンインストール (削除) します。

注意: アンインストールは管理者権限をもつユーザーで実行して下さい。

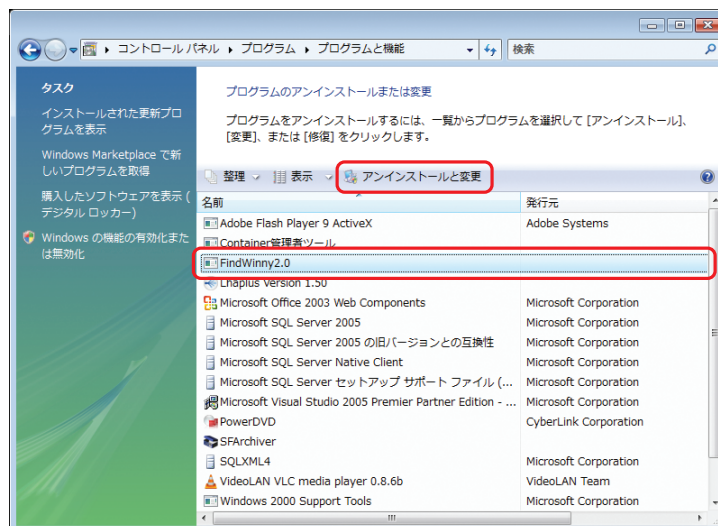
1. [スタート]メニューから[コントロールパネル]をクリックします。



2. [コントロールパネル] ウィンドウから [プログラムのアンインストール] (Windows XPの場合は [プログラムの追加と削除]、Windows 2000の場合は [アプリケーションの追加と削除]) をクリックします。

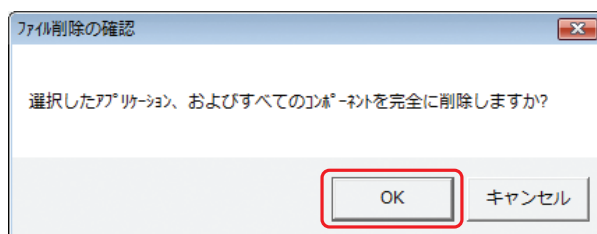


3. プログラムの一覧から「Find Winny2.0」をクリックします。



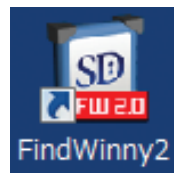
4. [アンインストールと変更] (Windows 2000、XPの場合は[変更と削除]) ボタンをクリックします。

5. 「ファイル削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。
[OK] ボタンをクリックすると、SD-Find Winny2.0がアンインストールされます。
アンインストールを中止する場合には、[キャンセル] ボタンをクリックして下さい。



SD-Find Winny2.0 の起動

SD-Find Winny2.0を起動するには、デスクトップに表示されている「Find Winny2」のアイコンをダブルクリックします。
または、[スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] (もしくは[プログラム]) → [Find Winny2.0] → [Find Winny2.0] を選択しても起動します。



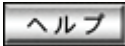
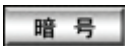
SD-Find Winny2.0 の終了



SD-Find Winny2.0を終了するには、メイン画面の[終了]ボタンをクリックします。

「終了」ボタンをクリックして終了します。

メイン画面の説明

- | | |
|---|--|
|  | 本ソフトウェアのマニュアル (PDFマニュアル) を表示します。
※PDFファイルを表示可能な環境でのみ表示されます。 |
|  | 暗号化に関する動作設定を行います。
(設定に関しては、9～11ページをご確認下さい。) |
|  | ファイル・フォルダの暗号化を行います。
(使用方法は、12～17ページをご確認下さい。) |
|  | SD-Find Winny2.0を終了します。 |



動作設定を行う



暗号化ファイル作成時の動作設定します。

動作設定画面で設定した項目は、暗号化ファイル作成時に常に有効になります。

したがって、①パスワード、③ファイルの上書き確認、⑤復号化時のファイル共有ソフトのスキンの有無、⑥暗号化ファイルの圧縮処理、⑦暗号化ファイルへのFW常駐アプリケーション インストーラ同梱について、その都度暗号化ファイル毎に設定したい場合には、パスワードとファイルの上書き項目の設定は不要です。

- | | |
|-------------------------|----------------------------------|
| ① 暗号化するパスワードを記憶する | ⑤ 復号化時のファイル共有ソフトのスキンの有無 |
| ② 常に同じ場所へ暗号化済みファイルを保存する | ⑥ 暗号化ファイルの圧縮処理 |
| ③ 暗号化時のファイルの上書き確認 | ⑦ 暗号化ファイルへのFW常駐アプリケーション インストーラ同梱 |
| ④ 複数ファイルの処理 | |

① 暗号化するパスワードを記憶する

暗号化ファイル作成時の動作設定します。

● 「暗号化するパスワードを記憶する」を有効にする

有効にした場合、暗号化時のパスワード入力を省略でき、ここで入力したパスワードで常に暗号化します。

● 「暗号化するパスワードを記憶する」を設定しない

パスワード設定しない場合、暗号化を行うたびにパスワードの入力が必要になります。

設定方法

1. チェックボックスにチェックをつけます。
2. パスワードを半角英数字4～30文字(大文字・小文字の区別あり)で設定します。

② 常に同じ場所へ暗号化済みファイルを保存する

暗号化ファイルの保存先を指定できます。

- 「常に同じ場所へ暗号化済みファイルを保存する」を有効にしない場合
選択ファイル（元ファイル）と同じ場所に暗号化ファイルが保存されます。

③ 暗号化時のファイルの上書き確認

同一ファイル名の上書き保存確認メッセージを省略できます。

- 有効にした（チェックボックスにチェックをつけた）場合
暗号化ファイルの保存先に同名の暗号化ファイルが存在しても、確認メッセージは表示されずに上書き保存されます。
- 有効にしない場合
暗号化前に上書き確認メッセージが表示されます。

④ 複数ファイルの処理

暗号化ファイル作成時の複数ファイルの処理方法を設定できます。

- 「複数ファイルは個別の暗号化ファイルにする」を設定した場合

同時に複数ファイルを選択し、暗号化した場合、個別の暗号化ファイルが作成されます。



- 「複数ファイルは1つの暗号化ファイルにまとめる」を設定した場合

同時に複数ファイルを選択し、暗号化した場合、1つの暗号化ファイルとして作成されます。

※ 復号化時はフォルダで復号されます。



ヒント

ドラッグ&ドロップで暗号化ファイルを作成する場合には、ドラッグ&ドロップ時にマウスが指しているファイルのファイル名が暗号化ファイル名になります。

ヒント

[暗号]ボタンからファイルを選択して暗号化ファイルを作成する場合には、最後に選択したファイル名が暗号化ファイル名になります。

⑤ 復号化時のファイル共有ソフトのスキンの有無

暗号化ファイル復号時のファイル共有ソフトのスキンの有無を設定できます。

- 「復号化時にファイル共有ソフトのスキンを実行する」

作成する暗号化ファイルは、常にファイル共有ソフトのスキンを実行するように設定されます。

- 「復号化時にファイル共有ソフトのスキンを実行しない」

作成する暗号化ファイルは、常にファイル共有ソフトのスキンを実行しないように設定されます。

- 「暗号化時に毎回設定する」

暗号化を行うごとにファイル共有ソフトのスキンの有無が設定できます。

⑥ 暗号化ファイルの圧縮処理

本ソフトウェアで作成した暗号化ファイルをzip形式で圧縮するかどうかを指定できます。

圧縮を行った場合、作成される暗号化ファイルはzipファイルになります。

作成されたzipファイルを解凍すると、exe形式の暗号化ファイルになります。

尚、暗号化ファイルの圧縮であるため、一般的なファイルの圧縮に比べ、圧縮率は低下します。

⑦ 暗号化ファイルへのFW常駐アプリケーション インストーラ同梱

本ソフトウェアで作成した暗号化ファイルにFW常駐アプリケーションのインストーラを同梱するかどうかを指定できます。

FW常駐アプリケーションについては、「FW常駐アプリケーションについて」の項を参照ください。

暗号化ファイルを作成する (ドラッグ&ドロップから)



ドラッグ&ドロップで暗号化ファイルを作成する

1. 暗号化するファイル/フォルダを選択し、Find Winnyの画面にドラッグ&ドロップします。



ファイルをメイン画面に
ドラッグ&ドロップします。

注意

Find Winnyのメイン画面にドラッグ&ドロップすると暗号化ファイルが作成されます。

注意

暗号化できるファイルのファイルパスの長さは、255文字以内となります。

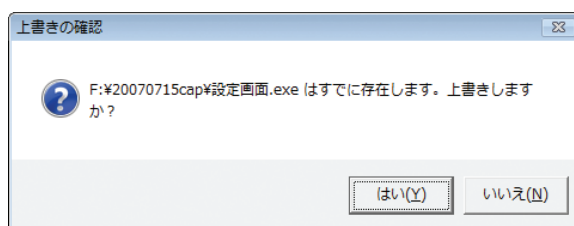
ヒント

暗号化ファイルの保存先は、動作設定画面で「常に同じ場所へ暗号化済みファイルを保存する」を設定していない場合には、選択した元ファイルと同じ場所に暗号化ファイルが保存されます。(動作設定については、10ページ②をご確認下さい。)

ヒント

暗号化ファイル名は、ドラッグ&ドロップ時にマウスが指しているファイルのファイル名が暗号化ファイル名となります。

暗号化ファイルの保存先に同じ名前のファイルが存在する場合には、下記の上書き確認画面がドラッグ&ドロップ時に表示されます。



ヒント

動作設定画面にて、「暗号化時のファイルの上書き確認」を設定している場合には、上書き確認画面は表示されません。(動作設定については、10ページ③をご確認下さい。)

暗号化ファイルを作成する (ドラッグ&ドロップから)



2. 復号化時にファイル共有ソフトのスキャンを行う場合には、チェックボックスにチェックをつけます。スキャンを行わない場合には、チェックボックスのチェックを外してください。

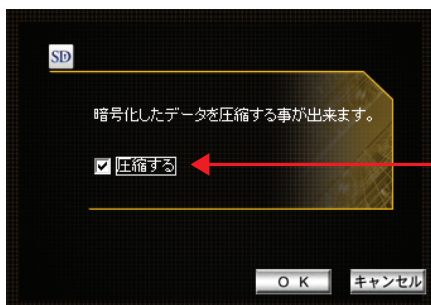


ファイル共有ソフトのスキャンを行う場合
⇒チェックをつけてください
ファイル共有ソフトのスキャンを行わない場合
⇒チェックを外してください

ヒント

動作設定画面にて、「復号化時にファイル共有ソフトのスキャンを実行する」もしくは「復号化時にファイル共有ソフトのスキャンを実行しない」を設定している場合には、この画面は省略されます。
(動作設定については、11ページ⑤をご確認下さい。)

3. 暗号化データを圧縮(zip形式)する場合は、チェックボックスにチェックをつけます。圧縮処理を行わない場合には、チェックボックスのチェックを外してください。

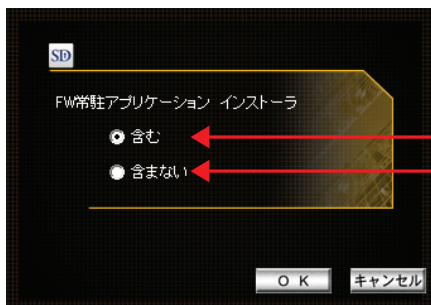


暗号化データを圧縮する場合
⇒チェックを付けてください
暗号化データを圧縮しない場合
⇒チェックを外してください

ヒント

動作設定画面にて「圧縮を行う」あるいは「圧縮を行わない」を設定している場合には、この画面は省略されます。
(動作設定については、11ページ⑥をご確認下さい。)

4. 暗号化データにFW常駐アプリケーション インストーラを含める、含めないを選択します。



暗号化データにFW常駐アプリケーション インストーラを含める場合
暗号化データにFW常駐アプリケーション インストーラを含めない場合

ヒント

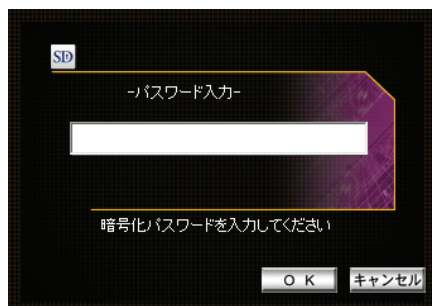
動作設定画面にて「含める」あるいは「含めない」を設定している場合には、この画面は省略されます。
(動作設定については、11ページ⑦をご確認下さい。)

暗号化ファイルを作成する (ドラッグ&ドロップから)

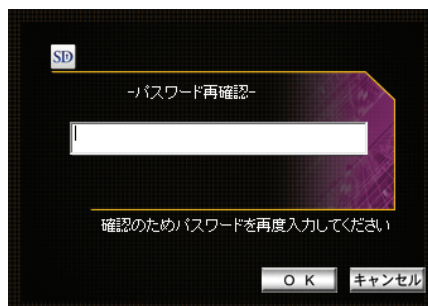


5. パスワード設定を行って下さい。

パスワードは、半角英数字4～30文字(大文字・小文字の区別あり)で設定可能です。



パスワード入力画面



パスワード再確認画面

ヒント

動作設定画面にて、「暗号化するパスワードを記憶する」を設定している場合には、この画面は省略され、動作設定にて設定したパスワードが適用されます。
(動作設定については、9ページ①をご確認下さい。)

6. 暗号化ファイルが作成されました。

Find Winnyで作成された暗号化ファイルは、自己復号形式のexeファイルあるいはzipファイルとなります。



暗号化ファイルの保存先フォルダが表示されています。

ヒント

暗号化ファイルの保存先は、動作設定画面で「常に同じ場所へ暗号化済みファイルを保存する」を設定していない場合には、選択した元ファイルと同じ場所に暗号化ファイルが保存されます。
(動作設定については、10ページ②をご確認下さい。)

ヒント

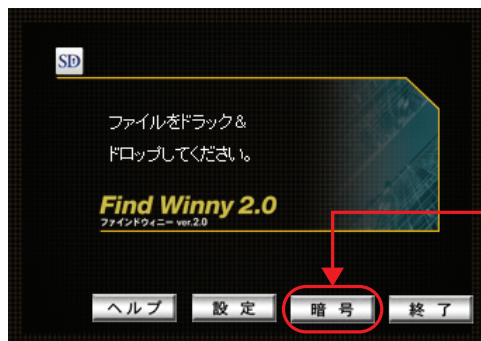
暗号化ファイル名は、ドラッグ&ドロップ時にマウスが指しているファイルのファイル名が暗号化ファイル名となります。

暗号化ファイルを作成する ([暗号] ボタンから)



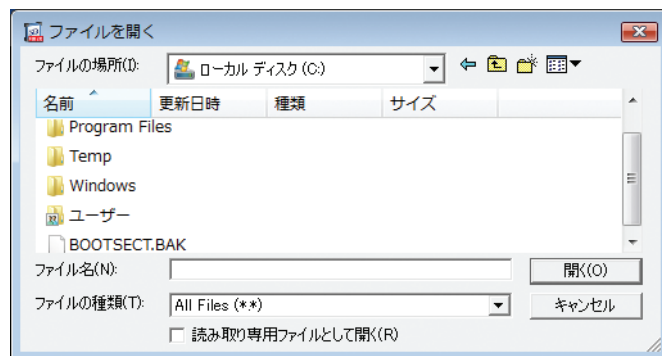
[暗号] ボタンから暗号化ファイルを作成する

1. メイン画面の [暗号] ボタンをクリックします。



[暗号] ボタンをクリックします。

2. 暗号化するファイル/フォルダを選択します。
複数ファイルを選択する場合には、[Ctrl] ボタンを押しながらファイルを選択してください。



注意

暗号化できるファイルのファイルパスの長さは、255文字以内となります。

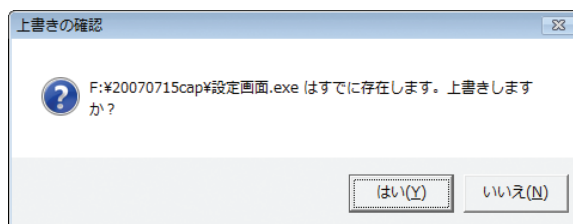
ヒント

暗号化ファイルの保存先は、動作設定画面で「常に同じ場所へ暗号化済みファイルを保存する」を設定していない場合には、選択した元ファイルと同じ場所に暗号化ファイルが保存されます。(動作設定については、10ページ②をご確認下さい。)

ヒント

暗号化ファイル名は、最後に選択したファイルのファイル名となります。

暗号化ファイルの保存先に同じ名前のファイルが存在する場合には、下記の上書き確認画面が表示されます。



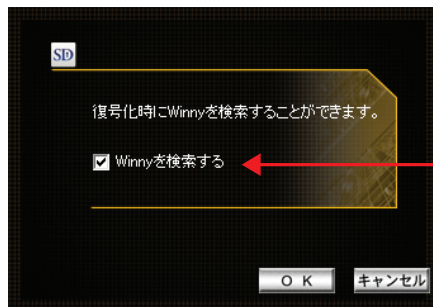
ヒント

動作設定画面にて、「暗号化時のファイルの上書き確認」を設定している場合には、上書き確認画面は表示されません。(動作設定については、10ページ③をご確認下さい。)

暗号化ファイルを作成する（[暗号] ボタンから）



3. 復号化時にファイル共有ソフトのスキャンを行う場合には、チェックボックスにチェックをつけます。スキャンを行わない場合には、チェックボックスのチェックを外してください。

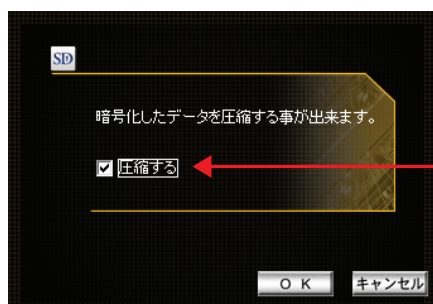


ファイル共有ソフトのスキャンを行う場合
⇒チェックをつけてください
ファイル共有ソフトのスキャンを行わない場合
⇒チェックを外してください

ヒント

動作設定画面にて、「復号化時にファイル共有ソフトのスキャンを実行する」もしくは「復号化時にファイル共有ソフトのスキャンを実行しない」を設定している場合には、この画面は省略されます。（動作設定については、11ページ⑤をご確認下さい。）

4. 暗号化データを圧縮(zip形式)する場合は、チェックボックスにチェックをつけます。圧縮処理を行わない場合には、チェックボックスのチェックを外してください。

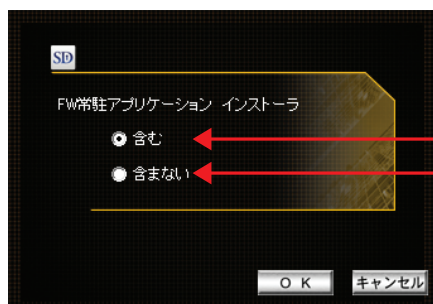


暗号化データを圧縮する場合
⇒チェックを付けてください
暗号化データを圧縮しない場合
⇒チェックを外してください

ヒント

動作設定画面にて「圧縮を行う」あるいは「圧縮を行わない」を設定している場合には、この画面は省略されます。（動作設定については、11ページ⑥をご確認下さい。）

5. 暗号化データにFW常駐アプリケーション インストーラを含める、含めないを選択します。



暗号化データにFW常駐アプリケーション インストーラを含める場合
暗号化データにFW常駐アプリケーション インストーラを含めない場合

ヒント

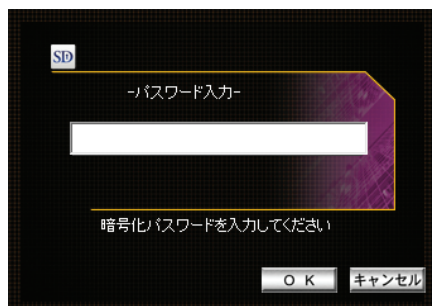
動作設定画面にて「含める」あるいは「含めない」を設定している場合には、この画面は省略されます。（動作設定については、11ページ⑦をご確認下さい。）

暗号化ファイルを作成する（[暗号] ボタンから）

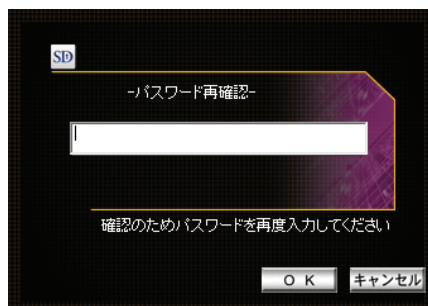


6. パスワード設定を行って下さい。

パスワードは、半角英数字4～30文字（大文字・小文字の区別あり）で設定可能です。



パスワード入力画面



パスワード再確認画面

ヒント

動作設定画面にて、「暗号化するパスワードを記憶する」を設定している場合には、この画面は省略され、動作設定にて設定したパスワードが適用されます。
（動作設定については、9ページ①をご確認下さい。）

7. 暗号化ファイルが作成されました。

Find Winny で作成された暗号化ファイルは、自己復号形式のexeファイルあるいは zip ファイルとなります。



暗号化ファイルの保存先フォルダが表示されています。

ヒント

暗号化ファイルの保存先は、動作設定画面で「常に同じ場所へ暗号化済みファイルを保存する」を設定していない場合には、選択した元ファイルと同じ場所に暗号化ファイルが保存されます。
（動作設定については、10ページ②をご確認下さい。）

ヒント

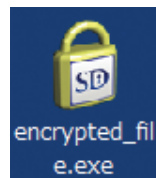
暗号化ファイル名は、ドラッグ&ドロップ時にマウスが指しているファイルのファイル名が暗号化ファイル名となります。

暗号化ファイルを復号化する



1. 暗号化ファイルをダブルクリックします。

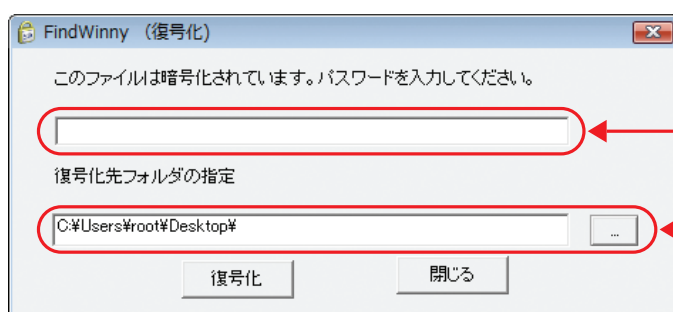
ダブルクリックします。 →



注意

暗号化ファイルの復号化はローカディスクにて実施して下さい。メールの添付ファイル等を直接実行しても、復号化できない可能性があります。また、暗号化ファイルがzipファイルであった場合は、解凍後に本手順で復号化してください。

2. 暗号化時に設定したパスワードを入力します。
また、復号化先フォルダをデフォルトの指定先から変更する場合には、変更して下さい。
パスワードを入力し、復号化先フォルダを指定した後に[復号化]をクリックします。



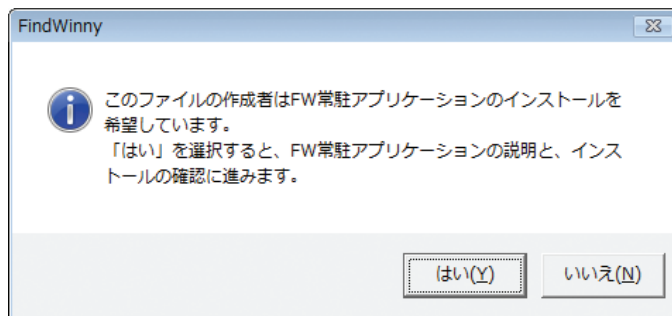
パスワードを入力します。

復号化先を指定します。

暗号化ファイルを復号化する



3. 暗号化ファイル作成時に、FW常駐アプリケーションのインストールを含める設定にした場合には、インストール確認のダイアログが表示され、[はい] ボタンを押すと、FW常駐アプリケーションのインストールの確認に移ります。

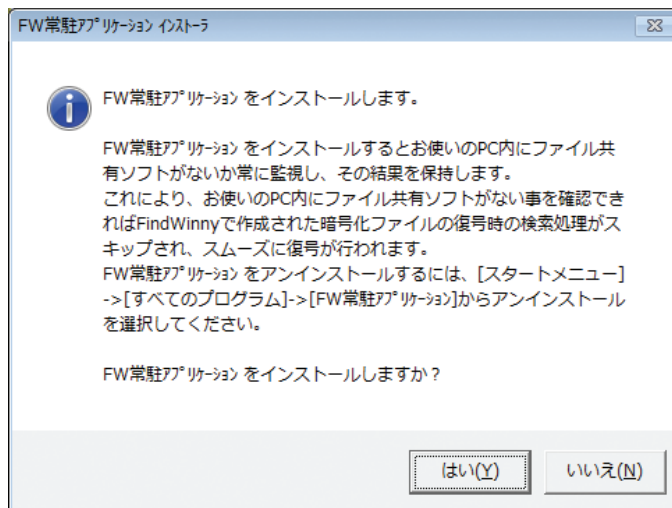


[いいえ] ボタンを押すと、FW常駐アプリケーションをインストールせずに復号化処理を進めます。4.に進んでください。

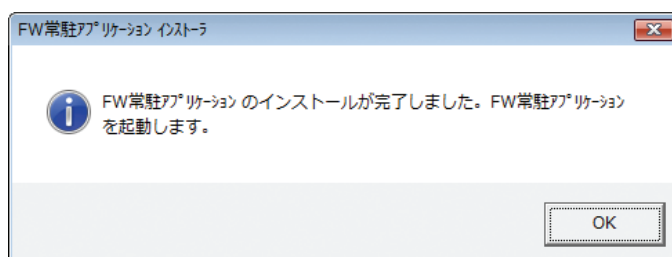
ヒント

FW常駐アプリケーションをインストールしない場合でも、ファイル共有ソフトのスキャン後に暗号化ファイルの復号化は可能です。

FW常駐アプリケーションの説明ダイアログが表示されますので、[はい] ボタンを押すとFW常駐アプリケーションのインストールを行います。



FW常駐アプリケーションのインストールが完了した旨、ダイアログが表示されますので [OK] ボタンを押してください。FW常駐アプリケーションが起動します。



暗号化ファイルを復号化する



4. 暗号化ファイル作成時に、ファイル共有ソフトのスキャンを実行するように設定した場合には、ファイル共有ソフトのスキャンが開始されます。
FW常駐アプリケーションがインストールされたPCにおいては、FW常駐アプリケーションでのチェック結果に応じてファイル共有ソフトのスキャンが実行されます。
FW常駐アプリケーションについては、「FW常駐アプリケーションについて」の項を参照ください。



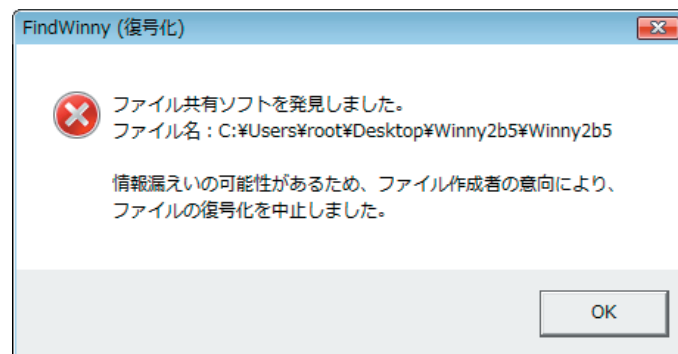
注意

ファイル共有ソフトを検知するのは、稼動するPCのローカルディスクのみです。
リムーバブルディスク・ネットワークドライブ、その他ネットワーク上は検索の対象外となります。

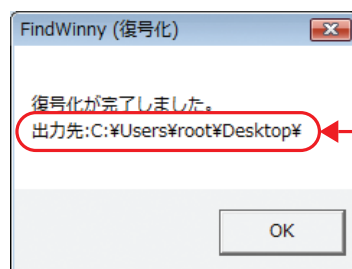
注意

ファイル共有ソフトを検知するのは、稼動するユーザーがアクセス可能なフォルダ及びファイルのみとなります。
制限付ユーザーアカウントで稼動されている場合、管理者権限を持つアカウントのフォルダは検知できません。
また、プライベート設定されているフォルダも、検知の対象外となります。

復号化先のPC内にファイル共有ソフトが存在する場合には、注意画面が表示され、ファイルの復号化が停止されます。



復号化先 PC 内にファイル共有ソフトが存在しない場合には、ファイル共有ソフトのスキャン後に復号化されます。



復号化先フォルダが表示されています。

FW常駐アプリケーションの仕様

FW常駐アプリケーションは、暗号化データの復号化時に当該PCにファイル共有ソフトがインストールされていないか、近日にファイル共有ソフトが実行されていないかを検知するソフトウェアです。暗号化データ生成時に、FW常駐アプリケーションを復号化先PCにインストールするかどうかの設定を行うことができます。

尚、復号化先PCで当該設定を実施した暗号化データを復号化する際に、FW常駐アプリケーションをインストールするかどうかの選択が可能です。

FW常駐アプリケーションは、以下の仕様になっています。

- FW常駐アプリケーションは、ファイル共有ソフトが実行されていないかのチェックと、1週間に一度のファイル共有ソフトのスキャンを実行し、それらの結果を情報として保持します。SD-Find Winny2.0で暗号化されたファイルの復号化時に、FW常駐アプリケーションの保持している情報をチェックし、以下の条件に全て当てはまる場合にファイル共有ソフトのスキャンをせずに復号化します。

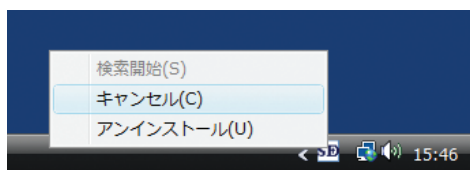
- ・最近のスキャンにおいてファイル共有ソフトが検知されなかった。
- ・最近のスキャン以降、ファイル共有ソフトが当該PCで実行された形跡がない。

上記条件に当てはまらない場合は、FW常駐アプリケーションがインストールされていない場合と同様、ファイル共有ソフトのスキャンを行います。

- FW常駐アプリケーションをインストールすると、図のようにタスクトレイに表示されます。



- タスクトレイのアイコンを右クリックすることにより、メニューが表示されます。



- FW常駐アプリケーションでの、また、手動によるファイル共有ソフトの検索も可能です。手動によるファイル共有ソフトの検索は、メニューの[検索開始]を選択してください。

- ファイル共有ソフトの検索実行中は、タスクトレイのアイコンがアニメーションします。検索開始や、検索結果の表示は行いません。但し、手動で検索開始を実行した場合は、ファイル共有ソフトの検索結果を表示します。



- FW常駐アプリケーションでのファイル共有ソフトの検索は、FW常駐アプリケーションのメニューからキャンセルすることも可能です。
- 暗号化ファイルの復号化時、及び、FW常駐アプリケーションのファイル共有ソフトのスキャン処理をキャンセルした場合は、過去にスキャンした結果は削除されます。
この状態で暗号化ファイルの復号化を行った場合、FW常駐アプリケーションがインストールされていない場合と同様、ファイル共有ソフトのスキャンを行います。

注意

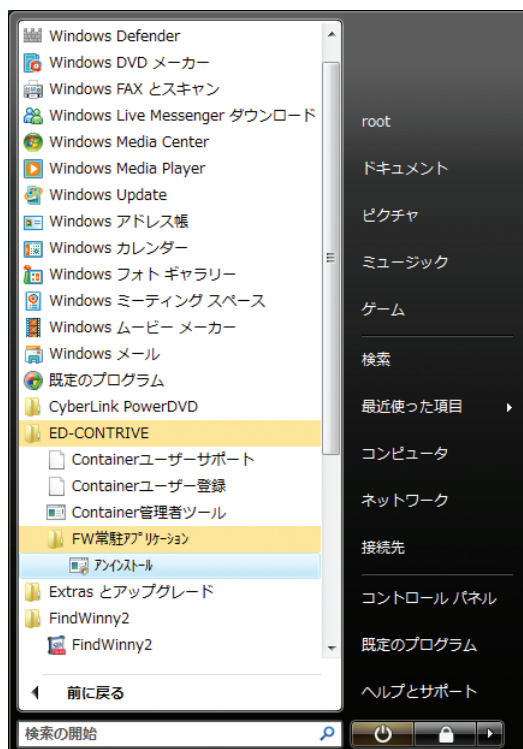
ファイル共有ソフトを検知するのは、稼動するPCのローカルディスクのみです。
リムーバブルディスク・ネットワークドライブ、その他ネットワーク上は検索の対象外となります。
また、稼動するユーザーがアクセス可能なフォルダ及びファイルのみです。
制限付ユーザーアカウントで稼動されている場合、管理者権限を持つアカウントのフォルダ及び、プライベート設定されているフォルダは検索の対象外となります。

注意

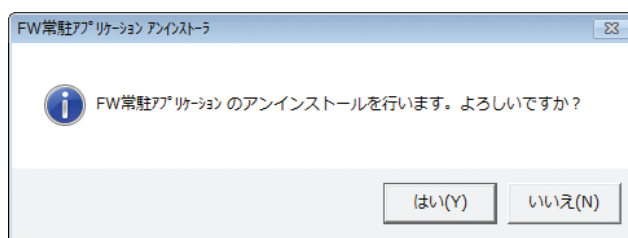
FW常駐アプリケーションは、インストールしたアカウントでのみ有効です。
同じPCを複数ユーザーでご利用の場合は、各アカウントでFW常駐アプリケーションをインストールの上ご利用ください。

FW常駐アプリケーションのアンインストール

1. [スタートメニュー] から [すべてのプログラム] (あるいは [プログラム]) -> [ED-CONTRIVE] -> [FW常駐アプリケーション] -> [アンインストール] を選択します。



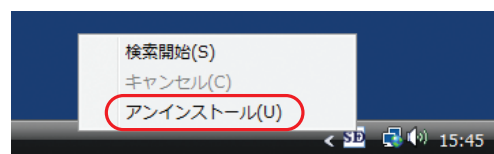
2. アンインストールの確認ダイアログボックスが表示されます。



3. [はい] ボタンをクリックすると、Find Winny常駐アプリケーションがアンインストールされます。アンインストールを中止する場合には、[いいえ] ボタンをクリックしてアンインストールを中止してください。

ヒント

タスクトレイのSDアイコンを右クリック
-> [アンインストール] を選択すること
でもアンインストールできます。



ユーザー登録

SD-Find Winny 2.0 のユーザー登録を下記Webページより受け付けております。
ユーザー登録済みのお客様には、本ソフトウェアに関するバージョンアップ情報などをメールにてご連絡いたします。

また、本ソフトウェアに関するサポートを希望するお客様は、必ずユーザー登録を行って下さい。
ユーザー登録後にご覧いただけるサポートページにて、本ソフトウェアに関するFAQを公開しております。

<http://www.safety-disclosure.jp/user>

サポート窓口

SD-Find Winny 2.0 についてのお問い合わせは下記へご連絡下さい。

インターネット

<http://www.safety-disclosure.jp/user/support/>

ホームページのサポートページにFAQ、アップデート、ダウンロードなどをご用意しております。こちらをご覧ください。

それでもご解決できない場合には、サポートフォームよりお問い合わせください。

※サポートページへのログインには、ユーザー登録後にメールにてご案内するIDとパスワードが必要となります。

ソフトウェア使用許諾

お客様が本使用許諾契約書の内容について同意・承諾した場合に限り、イーディーコンプライブ株式会社（以下「当社」）は、お客様に本ソフトウェアの使用を許諾するものとします。

1 ソフトウェアの使用許諾

- (1)本ソフトウェアの著作権は、当社に帰属します。
- (2)本ソフトウェアは、著作権者である当社から、本ソフトウェアの使用者であるお客様にその使用を許諾するものであり、販売、売買または譲渡されることを固く禁じます。
- (3)当社は、お客様に本ソフトウェアの非独占的且つ再許諾不能の使用権を許諾します。
- (4)お客様は、本ソフトウェアを、特定の1台のコンピュータ端末にのみ複製（インストール）して使用することができます。
- (5)お客様は、どのコンピュータにもインストールまたは使用しないことを条件に、本ソフトウェアのバックアップコピーを1部のみ作成できます。

2 制限

- (1)本ソフトウェアの構造、編成、およびコードは、当社が保有する重要な営業秘密であり秘密情報です。このため、本ソフトウェアの逆コンパイル、リバース・エンジニアリング、逆アセンブルならびにその他の方法により本ソフトウェアを人が認知できるような形態に変えることは、適用される法律により許可されている場合を除き、認められません。
- (2)お客様は、1(5)の規定を除き、本ソフトウェアをコピーすることはできません。お客様が作成する本ソフトウェアのすべてのコピーには、本ソフトウェア上または本ソフトウェア内に付された著作権表示およびその他の財産権表示と同一の表示を付さなければなりません。
- (3)本契約に明示的に許可されているものを除き、本ソフトウェアに関するお客様の権利をレンタル、リース、販売、サブライセンス、割り当て、または譲渡することや、本ソフトウェアの全部または一部を他のユーザのコンピュータにコピーすることを許諾することはできません。ただし、以下の条件が満たされる場合には、お客様は本ソフトウェアを使用する権利のすべてを他の個人または法人に譲渡することができます。
 - (a)本契約、本ソフトウェア、および本ソフトウェアに同梱、同封または内蔵されている他のソフトウェアまたはハードウェア（すべてのコピー、アップデート、および旧バージョンのすべてのコピーを含むものとします）をすべて当該個人または法人に譲渡すること。
 - (b)一切のコピー（バックアップおよびコンピュータに格納されたコピーを含むものとします）をお客様が保持しないこと
 - (c)本契約の条件、およびお客様が本ソフトウェアのライセンスを適法に購入する際に服した他のすべての条件を譲受人が受諾したこと。

3 アップデート

お客様が本ソフトウェアを旧バージョンからアップデートする場合には、旧バージョンの有効なライセンスを保有していなければならない。すべてのアップデートは、旧バージョンとのライセンスの交換を条件としてお客様に提供されます。

4 限定保証

- (1)当社は、本ライセンスの購入日から90日間、本ソフトウェアが推奨された動作環境において、実質的にマニュアルどおりに機能することを保証します。本ソフトウェアがマニュアルどおりに機能しない場合においても、それが重要な差異でない限り、お客様は保証に関する権利を有しません。本ソフトウェアの試用版、評価版、製品サンプルのいずれに対しても、本条の限定保証は適用されません。お客様が保証を請求する場合には、上記の90日の期間内にご購入時の領収書もしくは利用ライセンス証明書の写しを添えて本ソフトウェアを購入店に返送してください。本ソフトウェアが実質的にマニュアルに従って機能しない場合の責任および補償は、当社の選択により、本ソフトウェアの交換または購入代金の返還に限られます。
- (2)当社は、本ソフトウェアの使用により何らかの成果ないし結果が得られることを保証するものではありません。また、第三者の権利を侵害していないこと、本ソフトウェアが商品性、完全性もしくは十分な品質を有すること、または特定の目的に適合することにつき、明示であると黙示であるとを問わず何らの保証または表明をなすものではなく、また条件を付すものではありません。

ソフトウェア使用許諾

お客様が本使用許諾契約書の内容について同意・承諾した場合に限り、イーディーコントライブ株式会社（以下「当社」）は、お客様に本ソフトウェアの使用を許諾するものとします。

5 責任の制限

当社は、いかなる場合においても、本ソフトウェアの使用または使用できないことにより生じる損害、費用、派生的損害、間接的損害、付随的損害、特別損害、または利益の喪失につき、責任を負わないものとします。当該損害の発生の可能性につき当社が知らされていた場合においても同様とします。本契約に起因または関連して当社が負う責任の総額は、契約責任に基づくものであると不法行為に基づくものであるとを問わず（いずれの場合も過失責任を含むものとします）、本ソフトウェアの購入代金を上限とします。ただし、当社の過失または不法行為により生じた死亡または傷害の損害につき、当社が負う責任は本契約のいかなる規定によっても制限されません。

6 契約の終了

お客様が本契約に違反し、かかる契約違反が、当社からの書面による契約違反の通知を受領したあと30日を過ぎてなお継続する場合、当社はお客様に書面により通知することにより、本契約を終了することができます。この場合、本契約および本契約に基づきお客様に付与された全ての権利は直ちに終了します。

お客様は、本ソフトウェアの使用を停止することにより、いつでも本契約を終了することができます。この場合、お客様は本ソフトウェアをコンピュータから削除し、本ソフトウェアの全てのコピーを当社に返却するかあるいは本ソフトウェアの全てのコピーを破壊してください。本契約 1 (1)、2 (1)、4、5 は、本契約終了後も存続するものとします。

7 一般条項

(1) 本契約は、日本法に準拠することとします。本契約の条項の一部が法令により無効とされた場合にも本契約のそれ以外の条項は有効性を維持することとします。

(2) 本契約に関して生じた紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

商標について

ED-CONTRIVE、SD-Find Winny、SD ロゴ、Find Winny ロゴは、イーディーコントライブ株式会社の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。